

しまねの土地改良だより

平成 25 年 11 月 1 日発行

 水土里ネット島根

■地方の声を国へ！ =東京・農林水産省=

「農業農村整備事業意見交換会」推進協議会と県土連が開催

島根県農業農村整備推進協議会（会長 長岡出雲市長）と県土連（同）が主催する「農業農村整備事業意見交換会」が、10月16日農林水産省で開催されました。

この意見交換会は、県内の各地域が抱える課題について、その声を直接国に届けようと平成12年から始まったもので、今回が14回目の開催となります。

当日は、台風の影響で交通機関の乱れもありましたが、会員のほか、島根県、県土連などから35名が参加。また、農林水産省からは、實重農村振興局長、室本農村振興局整備部長など11名の幹部職員が出席されました。

開会にあたり挨拶された長岡会長は、「国の農業農村整備事業予算は、平成22年度の大幅削減以来、非常に厳しい状況が続いていたが、昨年の政権交代により予算が復活し、平成26年度予算概算要求では、対前年比121%の大きな伸びとなっており、要求額の満額確保と、関係予算の必要額の当初予算での確保を要望する」と述べられました。

第1部の研修会では、實重局長の挨拶の後、整備部設計課の大内技術調査官から「農業農村整備事業関係 平成26年度予算概算要求」について講演がありました。

また、第2部では、室本整備部長の挨拶に続き、農村振興局の幹部職員と参加者の意見交換があり、「農業水利施設等の長寿命化対策事業の地元負担軽減」「災害復旧事業査定設計書作成に要する委託費等の補助金増額」など8項目にわたり、活発な意見交換が行われました。

当日は、意見交換会に先立ち、横山農林水産大臣政務官、農林水産省農村振興局長外幹部職員、県選出国會議員に対し、推進協議会と県土連の連名で要望・提案活動が行われました。



意見交換会（第1部）の様子＝農水省講堂



横山農林水産大臣政務官（中央）に要望書を渡す石橋推進協議会長（邑南町長：左）と山碓県土連副会長（飯南町長：右）

- | | |
|--------------------------|---|
| ・地方の声を国へ！「農業農村整備事業意見交換会」 | 1 |
| ・県土連第2回役員会 | 2 |
| ・事務担当者が情報交換「中四国土連事務部会」 | 2 |
| ・うしおの沢池農業用水・水源林保全隊 | 3 |
| ・県土連「第56回通常総会」開催日のお知らせ | 4 |
| ・今後の主な予定 | 4 |

■ 県土連第2回役員会

10月17日、本会の第2回役員会が、島根県東京事務所会議室（東京都 都道府県会館）で開催されました。

始めに長岡会長（出雲市長）から、前日開催された農林水産省との意見交換会が大変有意義に開催されたことについてのお礼と、要望・提案活動の報告が行われました。続いて、山碕副会長（飯南町長）と加藤理事（松江市土地改良区理事長）を議事録署名人に選出。その後、長岡会長が議長となり提出議案の審議が行われ、提出された5議案は、いずれも原案どおり承認可決されました。

その後、事務局から、①平成26年度新規採用職員の一次試験の実施、②今夏の災害発生に伴う会員への災害復旧業務の支援状況、③11月26日、東京で開催される「農業農村整備の集い」（主催 全土連・各県土連）について報告があり、了承されました。

【承認可決された議案】

- 第1号議案 会務報告
- 第2号議案 平成24年度会計収入支出決算及び財産目録について
- 第3号議案 第56回通常総会開催日時について
 - ・開催日 平成26年3月26日（水）
 - ・場 所 島根県土地改良会館（松江市黒田町432-1）
- 第4号議案 業務受託規程の一部改正について
- 第5号議案 （公社）土地改良測量設計技術協会への加入について

■ 事務担当者が情報交換 =香川県高松市=

「中国四国土地改良事業団体連合会事務部会」を開催

10月22日、香川県高松市のルポール讃岐において、平成25年度中国四国土地改良事業団体連合会事務部会が開催され、本会を含む各県土連の事務担当者15名が出席しました。

開催県である香川県土連の山地常務理事が「香川県土連は31名の職員のうち、この5年間で15名の職員が退職予定であり土連の運営、存続について危機的な状況である。各県土連も本会と同様に様々な課題を抱えていると思うが、今後もこのような機会を設け連絡を密にし、連携して難局を乗り切っていくことが必要」と挨拶。

その後情報交換・協議に移りました。

この事務部会は、各県土連が抱える運営上の諸課題などについて情報交換や協議を行うもので、毎年、各県持ち回りで開催されているものです。

今年度は、職員の再雇用、新規職員採用、人材育成、職員健康管理、メンタルヘルス、経費節減対策、会計システムなど35項目の協議事項が提案され、各県の取り組み状況や事例などについて活発な討論が行われました。本会がこれから検討すべき課題や事務の効率化に向けての取り組みについて参考になる情報が入手できた有意義な会議でした。



事務部会の様子

■ うしおの沢池農業用水・水源林保全隊 =雲南市大東町山王寺=

雑木伐採・草刈り・植栽活動を実施 ～県土連・沢池整備委員会～

◆農村災害ボランティアなど50名が参加

10月30日、午前10時から、雲南市大東町山王寺の「うしおの沢池」で昨年に引き続き農業用水・水源林保全活動として、地元、農村災害ボランティア、関係団体など約50名が参加し、沢池周辺の草刈りや雑木の伐採作業を行いました。

うしおの沢池は、標高約400mの山間部にある農業用池（貯水容量は7万8千 t ）ですが、平成22年農林水産省のため池百選に選定されたことを機に、周辺を地域住民と都市住民の憩いの場とした水辺の森として整備する保全活動が行われています。

この日は、堤体の草刈りの外、池周辺の散策道沿いや午後から行われる植樹区域の草刈り作業も行いましたが、多くの皆さんの参加により2時間程で活動を終えることができました。

高齢化・過疎化により地元関係者だけではこのような保全活動を行うことが段々難しくなっています。美しい農村を守るため、今後も本会はこのようなボランティア活動に積極的に参加して行きます。



草刈り作業後に全員で記念撮影

◆地元児童が植樹

午後からは、うしおの沢池の景観に四季の風情を添えようと、地元の海潮小学校の6年生22名が、池を囲む雑木林の一角に設けた植樹地（約10 a ）に、山桜とカエデの苗木合わせて120本を植樹しました。

この植樹は、本会が、沢池周辺で社会貢献活動として行っている「企業参加のもりづくり活動」の一環で実施したもので、今年が3年目の植樹です。

参加した児童たちは、この活動に協力いただいている大原森林組合の宮川参事から植樹の仕方などについて教わった後、大きな鍬で穴を掘り、一本一本丁寧に苗木を植えていました。



慣れない手つきで穴掘り



ワークショップで、大原森林組合の職員から間伐について学習

植樹が終わると、農業用水の安定供給のための水源林の重要性の理解を深めていくことを目的にワークショップを行いました。沢池の歴史、ため池の特定外来生物（ブラックバス）の駆除、森林の役割や手入れの仕方、水源林や里山について説明し、子供達からは活発な質問が飛び交い非常に有意義な時間となりました。

今後とも、次世代を担う子供たちに、地域の豊かな環境を保全していく必要性を伝えていく活動を継続していきたいと思えます。

この植樹は「島根CO2吸収確認制度」に該当する作業で、後に島根県から認証を受ける予定です。

■ 県土連「第56回通常総会」開催日のお知らせ

10月17日に開催された第2回県土連役員会において、第56回通常総会の開催日が決定しましたのでお知らせします。

県土連「第56回通常総会」

開催日時 平成26年3月26日(水) 午後2時55分から

開催場所 島根県土地改良会館 1階 大会議室

なお、当日は、通常総会の外、下記の会議も同時開催されますので併せてご案内いたします。

- ◆ 島根県農地・水環境保全協議会「平成25年度第2回理事会」（午前11時30分から）
- ◆ 島根県農地・水環境保全協議会「平成25年度第2回通常総会」（午後1時から）
- ◆ 平成25年度土地改良功労者表彰式（午後2時から）
- ◆ 島根県農業農村整備推進協議会「平成25第2回総会」（午後4時から）

■ 今後の主な予定

- 11月 3日 たんぼの学校「収穫祭」（雲南市山王寺）
- 11月 8日 地域政策に関する都道府県担当者等会議（東京都）
- 11月18日 農林漁業団体等同和対策推進担当者等啓発研修会（浜田市）
- 11月25～26日 平成25年度換地計画実務研修会・換地委員等研修会（県土連）
- 11月26日 農林漁業団体等同和対策推進担当者等啓発研修会（出雲市）
- 11月26日 農業農村整備の集い（東京都）



水土里ネット島根（島根県土地改良事業団体連合会）

〒690-0876 島根県松江市黒田町432-1 島根県土地改良会館 TEL 0852-32-4141
ホームページ<http://www.shimanedoren.or.jp/> メールsmndoren@shimanedoren.or.jp